

こうのす民報

議会報告版

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介しします。

日本共産党鴻巣市議団

竹田えつ子

☎542-7072
FAX542-7101



すわみつえ

☎507-4151
FAX596-9440



「戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府」の実現を

安倍自公政権は、9月19日「安保法制」戦争法の採決を強行しました。日本国憲法に反する戦争法を強行した安倍政権への怒り、新たな政治を求める動きが広がる中、日本共産党は『戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府』の実現を呼びかけました。

- 戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいをさらに発展させよう。
- 「戦争法廃止の国民連合政府」をつくらう。
- 政権構想に合意した野党が選挙協力をしよう。

志位和夫委員長が民主、社民、生活の各党党首と個別に会談、動き出しました。この提案が実現できるかどうかは世論と運動の広がりにかかっています。

平和主義・立憲主義・民主主義をつらぬく新しい政治をつくるため、ご一緒に頑張っていきましょう。

マイナンバー制度は中止を

マイナンバーの通知が10月から始まり、赤ちゃんから高齢者までの方に、世帯単位で送られています。この制度の導入にあたり、政府は国民の社会保障・税・災害を便利にするために、との説明でした。しかし、導入が近づくに当たり、問題点が浮き彫りになっています。

この制度は国民の利便性が目的ではなく、当面、財産をつかみ税

市民の声を生かした総合病院建設を

県は病院整備計画に基づき10月1日から30日まで702床の公募を行ないました。

総合病院の誘致は市民の誰もが望んでいることです。しかしながら、「赤見台近隣公園」をつぶすことが問題です。

すわ議員は、「市が第5次総合振興計画で示した基本計画地に誘致すべきである。市は、そのためにどのように務めてきたか、基本計画地である農地の地権者に行われたアンケートでは7割の方が『病院等の施設であれば協力したい』と答えている。誰からも喜ばれる適正地に誘致すべきであり、市はこの間どのような努力をしてきたか」質問しました。市は明確に答えませんでした。

金をもれなく集めるためです。この制度を導入したアメリカ・イギリスでは問題点が多発し、取りやめています。

日本の利用の仕方は外国では考えられないほど多岐にわたり、情報が漏れると不安が広がっています。

日本共産党は凍結・中止を求めます。

9月18日の議会最終日に鴻巣会等から県知事宛ての、赤見台近隣公園を誘致先とした「総合病院の実現を求める意見書」が提出されたため、共産党と2名の賛同者で、「第5次総振で示した建設地にすべき」という意見書を提出しました。

本会議で3時間にわたり質疑・討論を行い、共産党の意見書は否決されました。

市民の声を生かされる病院建設のため力を尽くします。



ゴミ処理施設建設候補地

ゴミ処理施設建設は見直しを

鴻巣行田北本環境資源組合は、郷地・安養寺地区を新たなゴミ処理施設の建設候補地として選定しました。この地区は、地震・洪水のいずれかについて脆弱な場所であると判定されています。用地取得した後に、問題があつてからでは遅すぎます。候補地の選定を見直さう、竹田議員が質しました。

市は環境資源組合が6つの基本条件から総合的に判断したものであり、適当であると答弁しました。

このゴミ処理施設については、具体的計画や建設費用など何も決まっています。にもかかわらず、9月議会に、基金として5億円を積み立てる議案が出されました。

日本共産党は、市民が納得できる税金の使い方にすることを主張し、反対しました。

お気軽にどうぞ **法律・生活相談**

毎月第4金曜日 13:30~15:00 日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ



竹田えつ子議員

鴻巣市議会9月定例会が、8月27日から9月18日の会期で開会されました。竹田えつ子議員とすわみつえ議員は、市民の切実な願いを届けるために力をつくしました。



すわみつえ議員

介護保険改定後の状況

4月からの介護報酬引き下げが介護事業者の経営に影響が出ていないか、また利用料2割負担の改定でサービスを受ける利用者が出ていないか質問しました。

市は運営状況の把握はまだできないが今回の引き下げで影響を受ける所も少なからずあると考えられる。また、サービス抑制は出てないとの答弁でした。

誰もが安心して介護サービスが使えるよう引き続き取り組んでいきます。

鴻巣駅東口通り地区再開事業は地権者の不安にこたえて

エルミビルの3・4階のフロアは売れていません。このように再開発事業は、いま全国各地で行き詰まっています。

こうしたなか、鴻巣市は、鴻巣駅東口駅通り地区（ミスタードーナツのあった地域）の再開発事業を進めています。地権者にとれば全財産をかけた事業です。保留床の処分も含めて、地権者の不安に答えた事業計画にすることを求め質問しました。

市の答弁は、保留床の処分も含め（株）長谷工コーポレーションが包括的に代行することを条件に進めており、権利者の手間、負担が軽減され安定した事業運営ができると答弁しました。

再開発事業は大きな問題であり、引き続き取りあげていきます。

安全な通学路を

広田小通学路の県道32号は交通量が多いうえに、児童1人がやつと通れるような狭い歩道であるため、手押し信号機設置・道路拡幅を求めて質問しました。

毎年、小学校からも要請があり、市は信号機設置の要望は警察署に出しているとの答弁でした。

改善が急がれます。日本共産党は10月2日に鴻巣警察署に信号機設置を、北本県土事務所へ道路拡幅を要請しました。

すべての子どもが生き生きと学びすぎる学校に

不登校・いじめ・体罰・校内暴力の実態について質問しました。

昨年度、不登校は小学生17名、中学生59名、いじめは小学校で15件、中学校で15件発生していること、校内暴力は小学校で1件発生しており、体罰はなかったと答弁しました。

また、学校の先生方がしつかりと子ども達と向き合う時間がとれるよう、市として30人学級を実現することを求め質問しました。市は、いきいき先生を配置し支援しており、30人学級は考えていないと答えました。

放課後児童クラブの充実を

子育て支援といって放課後児童クラブに6年生まで入所させたものの、



広田小通学路の登校時

施設整備が充分でないため、子ども達も支援員も大変な思いをしています。受け入れ態勢を充実するよう求めて質問しました。

馬室放課後児童クラブは「愛里集」の1室を借りています。この馬室放課後児童クラブについて、市は12月から使えるよう施設を増築していると答えました。

田間宮放課後児童クラブは、雨漏りを修繕した旧田間宮公民館とあわせ、児童センターの1室を借りています。旧田間宮公民館を整備する事を求めましたが、市長はこうした考えはないと答えました。

他に、学校給食の無償化・こども医療費は18歳まで無料にして子育てを支援するよう質問しました。

「子どもは社会の宝、私たちの未来」です。日本共産党は、引き続き子育て環境をよくするために頑張っていきます。

空き家対策について

住民が、衛生面・安全面から改修や除却・他の用途への転用を求め空家の具体策を、他市で行なっている除却費用の助成との例を用いて質問しました。

法律に基づき所有者に適正管理を求めて行くとの答弁でした。市民の安心安全な環境にするために引き続き取り組んでいきます。

12月定例会 会期日程

本庁舎改修のため議会は川里農業研修センターに移転しています。

- 11月25日(水) 請願締切(正午)
 - 11月30日(月) 本会議
 - 12月3日(木) 本会議
 - 12月7日(月) 文教福祉常任委員会(竹田議員)
 - 12月8日(火) 政策総務常任委員会(すわ議員)
 - 10(木) 11(金) 15(火) 16(水) 一般質問
 - 12月18日(金) 本会議 討論・採決
- みなさんの傍聴をお願いします。

本当がわかる明日が見える

しんぶん 赤旗

●毎日配達の日刊紙/月3,497円
●毎週配達の日曜版/月 823円

憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。

